

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月11日

【四半期会計期間】 第62期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社芝浦電子

【英訳名】 SHIBAURA ELECTRONICS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長社長執行役員 葛西晃

【本店の所在の場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目1番24号

【電話番号】 (048)615-4000(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役常務執行役員経営管理本部長 細井和郎

【最寄りの連絡場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目1番24号

【電話番号】 (048)615-4000(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役常務執行役員経営管理本部長 細井和郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第61期 第2四半期 連結累計期間 | 第62期 第2四半期 連結累計期間 | 第61期 |
|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日 | 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 13,622,727 | 13,263,241 | 27,121,692 |
| 経常利益 (千円) | 1,561,070 | 1,162,914 | 2,863,405 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 1,099,067 | 823,247 | 2,055,019 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 886,419 | 834,841 | 1,794,445 |
| 純資産額 (千円) | 21,770,518 | 22,935,293 | 22,678,241 |
| 総資産額 (千円) | 31,881,722 | 32,352,852 | 34,676,030 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | 142.61 | 106.81 | 266.66 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 68.2 | 70.7 | 65.3 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,749,283 | 1,246,193 | 3,521,889 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,715,330 | 1,647,333 | 4,241,989 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 914,386 | 1,028,720 | 1,144,825 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円) | 5,911,584 | 5,668,242 | 7,170,792 |

| 回次 | 第61期 第2四半期 連結会計期間 | 第62期 第2四半期 連結会計期間 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年7月1日 至 2018年9月30日 | 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 81.82 | 58.50 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載していません。
- 4 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が所有する当社株式については、自己株式として処理しております。このため、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、当該株式を控除する自己株式に含めて期中平均株式数を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化・長期化により米国・中国経済の減速が顕著になり、また英国のEU離脱問題で欧州経済も弱く、その影響により世界景気は不透明な状況が続いております。

一方、国内経済も米中摩擦の影響や中国の景気減速等により中国向け輸出は減少しており、世界的な景気の不透明感から企業業績は悪化するリスクが高まっております。

このような状況ではありますが、将来のサーミスタ素子需要の増加を見据え、当社グループでは、製造面では㈱福島芝浦電子で5月に第10号棟が竣工し、素子生産ライン増設等の生産体制を強化した他、引き続き車載用センサの需要に対応すべく生産体制を整備しました。販売面では引き続き車載メーカーおよび国内外の省エネ、環境エコ関連メーカーをターゲットに営業活動を積極的に展開しましたが、長期化する中国経済の減速等の影響により、主な用途別売上高では、空調用センサは30億9千万円（前年同期比2.1%減）、家電用センサは18億1千8百万円（前年同期比8.9%減）、自動車用センサは16億3千8百万円（前年同期比13.0%増）、住設用センサは10億9千7百万円（前年同期比4.1%減）、OA機器用センサは9億4千3百万円（前年同期比5.8%減）、産業機器用センサは6億5千3百万円（前年同期比24.1%減）となりました。また、素子の売上高は36億2千2百万円（前年同期比1.9%減）となり、その内、車載用は24億6千8百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同四半期比2.6%減の132億6千3百万円となりました。損益面におきましては、営業利益11億5百万円（前年同四半期比28.9%減）、経常利益11億6千2百万円（前年同四半期比25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億2千3百万円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

日本

売上高は車載用センサの需要が拡大した一方、産業用センサの需要が減少したことにより、103億4千5百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。営業利益は販売の減少により、10億2千万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

アジア

売上高は家電用センサの需要が減少したことにより、75億4千6百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。営業利益は販売の減少により、4億1千9百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

ヨーロッパ

売上高は車載用素子の需要が増加した一方、円高による為替換算の影響を受けた事により、4億6千7百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。営業利益は人件費の増加により、3千万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

アメリカ

売上高は車載用素子の需要が拡大したことにより、2億7千3百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。営業利益は販売の増加により、1千5百万円（前年同四半期比74.0%増）となりました。

(2) 財政状態

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動に必要な資金の確保及び健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比23億2千3百万円(6.7%)減少し、323億5千2百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末比24億7千3百万円(11.0%)減少の200億3千9百万円、固定資産は前連結会計年度末比1億5千万円(1.2%)増加の123億1千3百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、有形固定資産取得の代金決済が進んだこと及び売上高の減少に伴い、現金預金が14億7千1百万円減少したこと並びに流動資産その他のうちの未収消費税が5億1千1百万円減少したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、(株)福島芝浦電子の工場増築及びサーミスタ素子の生産能力増強のための機械導入及びタイ シバウラデンシ カンパニー リミテッドの工場増築及び増産のための機械導入に伴う有形固定資産の増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末比25億8千万円(21.5%)減少の94億1千7百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末比22億3千4百万円(24.8%)減少の67億8千9百万円、固定負債は前連結会計年度末比3億4千5百万円(11.6%)減少の26億2千7百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、有形固定資産取得の代金決済が進んだことに伴い、流動負債その他のうちの未払金が11億4千万円減少したこと及び売上高減少に伴う材料等の仕入減少により買掛金が8億5千3百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比2億5千7百万円(1.1%)増加し、229億3千5百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

利益剰余金は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加が剰余金の配当を上回ったことにより前連結会計年度末比2億4千万円(1.4%)増加し、177億8千万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.3%から70.7%(前連結会計年度末比5.4ポイント増)となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、56億6千8百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、12億4千6百万円(前年同四半期比28.8%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億4千8百万円及び減価償却費9億2千万円等の資金の増加が、仕入債務の減少8億4千7百万円等の資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16億4千7百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。これは主に、(株)福島芝浦電子の工場増築及びサーミスタ素子生産能力増強のための機械導入及びタイ シバウラデンシ カンパニー リミテッドの工場増築及び増産のための機械導入に伴う有形固定資産の取得による支出15億8千7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億2千8百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。これは主に、配当金の支払5億8千1百万円及び長期借入金の返済による支出5億5千2百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は201,382千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 16,800,000 |
| 計 | 16,800,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在 発行数(株) (2019年11月11日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 7,779,865 | 7,779,865 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株でありま す。 |
| 計 | 7,779,865 | 7,779,865 | - | - |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | | 7,779,865 | | 2,144,612 | | 2,069,698 |

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--|--|---------------|---|
| 日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 1,157 | 14.88 |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND(PRINCIPAL ALL SECTOR SUB PORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行) | 245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号) | 619 | 7.97 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 | 409 | 5.26 |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行東京支 店 カストディ業務部) | 33 RUE DE GASPERICH, L-5826 HOWALD-HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11番1号) | 365 | 4.69 |
| 株式会社埼玉りそな銀行 | 埼玉県さいたま市浦和区常盤 7丁目4番1号 | 347 | 4.47 |
| 日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口9) | 東京都中央区晴海1丁目8番11号 | 316 | 4.07 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 東京都千代田区大手町2丁目2番2号 | 235 | 3.02 |
| BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行) | 245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2 丁目7番1号) | 225 | 2.89 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 212 | 2.73 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8番12 号 晴海トリトンスクエアタワー Z | 189 | 2.43 |
| 計 | | 4,078 | 52.46 |

(注) 1 2019年10月7日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、野村アセットマネジメント株式
会社が2019年9月30日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として2019年9
月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。
なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券数 | 株券等保有割合 |
|----------------------|-------------------|-------|---------|
| 野村アセットマネジメント 株式会社 | 東京都中央区日本橋1丁目12番1号 | 412千株 | 5.30% |

2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

| | |
|----------------------------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,157千株 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 316千株 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 235千株 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 189千株 |

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|------------------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 6,500 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,764,000 | 77,640 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 9,365 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 7,779,865 | | |
| 総株主の議決権 | | 77,640 | |

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式を100株含めております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、役員報酬B I P信託の所有する当社株式63,900株(議決権の数639個)を含めております。
- 3 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株、役員報酬B I P信託の所有する当社株式14株を含めております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|--------------------|----------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株)芝浦電子 | 埼玉県さいたま市中央区 上落合二丁目1番24号 | 6,500 | - | 6,500 | 0.0 |
| 計 | - | 6,500 | - | 6,500 | 0.0 |

(注) 「役員報酬B I P信託口」が所有する当社株式63,914株は、上記自己保有株式に含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,480,311 | 6,009,300 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,300,843 | 6,219,156 |
| 電子記録債権 | 1,077,076 | 971,278 |
| 商品及び製品 | 1,860,350 | 1,812,373 |
| 仕掛品 | 3,289,219 | 3,137,240 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,464,618 | 1,375,594 |
| その他 | 1,040,888 | 514,334 |
| 貸倒引当金 | 423 | - |
| 流動資産合計 | 22,512,884 | 20,039,279 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,295,133 | 5,117,482 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,938,947 | 3,989,350 |
| その他（純額） | 2,661,497 | 1,944,844 |
| 有形固定資産合計 | 10,895,578 | 11,051,677 |
| 無形固定資産 | 125,065 | 121,144 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 366,104 | 349,728 |
| その他 | 776,397 | 791,021 |
| 投資その他の資産合計 | 1,142,501 | 1,140,750 |
| 固定資産合計 | 12,163,146 | 12,313,572 |
| 資産合計 | 34,676,030 | 32,352,852 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,276,392 | 3,423,112 |
| 短期借入金 | 1,124,409 | 1,011,921 |
| 未払法人税等 | 350,621 | 266,309 |
| 賞与引当金 | 448,283 | 476,111 |
| 役員賞与引当金 | 70,000 | 35,000 |
| その他 | 2,754,524 | 1,577,279 |
| 流動負債合計 | 9,024,231 | 6,789,733 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,596,355 | 2,239,708 |
| 役員報酬BIP信託引当金 | 46,960 | 49,793 |
| 退職給付に係る負債 | 179,065 | 181,758 |
| その他 | 151,176 | 156,564 |
| 固定負債合計 | 2,973,557 | 2,627,824 |
| 負債合計 | 11,997,788 | 9,417,558 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,144,612 | 2,144,612 |
| 資本剰余金 | 2,090,704 | 2,090,704 |
| 利益剰余金 | 17,540,578 | 17,780,827 |
| 自己株式 | 130,498 | 125,135 |
| 株主資本合計 | 21,645,397 | 21,891,009 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 196,800 | 184,262 |
| 為替換算調整勘定 | 831,216 | 851,752 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 40,553 | 38,448 |
| その他の包括利益累計額合計 | 987,462 | 997,566 |
| 非支配株主持分 | 45,381 | 46,717 |
| 純資産合計 | 22,678,241 | 22,935,293 |
| 負債純資産合計 | 34,676,030 | 32,352,852 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 13,622,727 | 13,263,241 |
| 売上原価 | 10,378,717 | 10,461,024 |
| 売上総利益 | 3,244,009 | 2,802,217 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び賞与 | 554,689 | 578,786 |
| 賞与引当金繰入額 | 125,288 | 136,074 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 35,000 | 35,000 |
| 退職給付費用 | 17,767 | 39,351 |
| 役員報酬BIP信託引当金繰入額 | 6,979 | 8,288 |
| その他 | 949,283 | 899,048 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,689,009 | 1,696,549 |
| 営業利益 | 1,555,000 | 1,105,668 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,451 | 1,627 |
| 受取配当金 | 2,903 | 2,904 |
| 為替差益 | - | 28,814 |
| 受取手数料 | 9,278 | - |
| 助成金収入 | 9,052 | 3,608 |
| 保険解約返戻金 | - | 11,925 |
| その他 | 13,933 | 16,027 |
| 営業外収益合計 | 36,619 | 64,907 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,253 | 5,277 |
| 為替差損 | 26,206 | - |
| その他 | 2,090 | 2,383 |
| 営業外費用合計 | 30,549 | 7,661 |
| 経常利益 | 1,561,070 | 1,162,914 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 22,982 | 14,547 |
| 特別損失合計 | 22,982 | 14,547 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,538,088 | 1,148,366 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 418,179 | 283,792 |
| 法人税等調整額 | 19,245 | 39,835 |
| 法人税等合計 | 437,424 | 323,628 |
| 四半期純利益 | 1,100,663 | 824,738 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,595 | 1,490 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,099,067 | 823,247 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,100,663 | 824,738 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 38,980 | 12,538 |
| 為替換算調整勘定 | 254,002 | 20,536 |
| 退職給付に係る調整額 | 778 | 2,105 |
| その他の包括利益合計 | 214,243 | 10,103 |
| 四半期包括利益 | 886,419 | 834,841 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 884,823 | 833,350 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,595 | 1,490 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,538,088 | 1,148,366 |
| 減価償却費 | 726,475 | 920,348 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 111 | 410 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 47,961 | 27,828 |
| 役員報酬BIP信託引当金の増減額(は減少) | 6,979 | 2,833 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 35,000 | 35,000 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 71,710 | 47,349 |
| 受取利息及び受取配当金 | 4,354 | 4,532 |
| 支払利息 | 2,253 | 5,277 |
| 為替差損益(は益) | 6,681 | 1,466 |
| 固定資産処分損益(は益) | 22,982 | 14,547 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 429,972 | 156,492 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 655,644 | 312,937 |
| 未収消費税等の増減額(は増加) | 266,495 | 511,953 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 25,761 | 4,405 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 443,523 | 847,895 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 15,432 | 9,221 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 269,901 | 573,619 |
| その他 | 3,743 | 4,583 |
| 小計 | 2,107,338 | 1,599,710 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,216 | 4,603 |
| 利息の支払額 | 2,016 | 5,048 |
| 法人税等の支払額 | 360,255 | 376,869 |
| 法人税等の還付額 | - | 23,795 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,749,283 | 1,246,193 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 86,160 | 161,337 |
| 定期預金の払戻による収入 | 76,033 | 128,930 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,668,309 | 1,587,752 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 151 | 12 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 21,581 | 17,014 |
| その他 | 15,464 | 10,172 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,715,330 | 1,647,333 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | - | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 332,436 | 552,282 |
| 自己株式の取得による支出 | 882 | 91 |
| 自己株式の処分による収入 | - | 5,455 |
| 配当金の支払額 | 580,976 | 581,710 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | 91 | 91 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 914,386 | 1,028,720 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 36,690 | 72,688 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 917,123 | 1,502,550 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,828,707 | 7,170,792 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,911,584 | 5,668,242 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形及び電子記録債権が、前連結会計年度末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|--------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 30,020千円 | -千円 |
| 電子記録債権 | 2,362千円 | -千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金 | 6,223,137千円 | 6,009,300千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 301,196千円 | 328,555千円 |
| 別段預金 | 10,356千円 | 12,502千円 |
| 現金及び現金同等物 | 5,911,584千円 | 5,668,242千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 583,017 | 75.00 | 2018年3月31日 | 2018年6月29日 | 利益剰余金 |

(注) 2018年6月28日の定時株主総会による配当金の総額には、「役員報酬BIP信託口」が所有する当社株式に対する配当金5,022千円が含まれております。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 582,998 | 75.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月28日 | 利益剰余金 |

(注) 2019年6月27日の定時株主総会による配当金の総額には、「役員報酬BIP信託口」が所有する当社株式に対する配当金5,022千円が含まれております。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|------------|-----------|---------|---------|------------|
| | 日本 | アジア | ヨーロッパ | アメリカ | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,075,869 | 4,873,027 | 440,934 | 232,896 | 13,622,727 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,735,930 | 2,701,535 | 40,701 | 8,405 | 5,486,573 |
| 計 | 10,811,800 | 7,574,563 | 481,635 | 241,301 | 19,109,300 |
| セグメント利益 | 1,444,777 | 483,861 | 35,624 | 9,180 | 1,973,443 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,973,443 |
| セグメント間取引消去 | 1,791 |
| 全社費用(注) | 416,651 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,555,000 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|------------|-----------|---------|---------|------------|
| | 日本 | アジア | ヨーロッパ | アメリカ | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,840,585 | 4,731,836 | 425,040 | 265,779 | 13,263,241 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,505,177 | 2,814,485 | 42,895 | 8,167 | 5,370,726 |
| 計 | 10,345,763 | 7,546,322 | 467,935 | 273,947 | 18,633,968 |
| セグメント利益 | 1,020,121 | 419,973 | 30,798 | 15,970 | 1,486,863 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,486,863 |
| セグメント間取引消去 | 45,558 |
| 全社費用(注) | 426,754 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,105,668 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 142円61銭 | 106円81銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 1,099,067 | 823,247 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 1,099,067 | 823,247 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,706,498 | 7,707,344 |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2 純資産の部において、自己株式として計上されている「役員報酬BIP信託口」に残存する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第2四半期連結累計期間66,960株、当第2四半期連結累計期間65,955株であります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

株式会社芝浦電子
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 植村文雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤武男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社芝浦電子の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社芝浦電子及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。